

トナリのひろとの回覧板

vol.29

お役にたちます！トナリのひろと



佐藤ひろと

世田谷区議会議員・区議団幹事長

oyakuni@sato-hiroto.com
http://www.sato-hiroto.com



お知らせ

“もしもの時に”

世田谷区の災害情報入手先

● **世田谷災害・防犯情報メール**
メール配信サービスの登録・変更。
PCはentry@setagaya-mail.jpからスマホは、QRコードを読み取り空メールを送信してください。



● **ラジオ・エフエム世田谷**
インターネットラジオ「リスラジ」でも配信しています。
PCでhttp://listenradio.jp/トップページから【全国のラジオ局】→【関東】→【エフエム世田谷】でお聴き頂けます。スマホは右のQRコードで。



● **防災無線電話応答サービス**
専用電話番号：**03-5481-4701**
24時間以内に放送された内容を聞くことができます。

赤羽国土交通省大臣へ申し入れ！

昨年の台風の影響による甚大な被害に伴い、多摩川における治水対策の推進について大田区、川崎市、世田谷区の3自治体合同による要望書を提出。速かに区民生活の安全に資する整備を求めました。



新型コロナウイルス電話相談

◎世田谷区帰国者・接触者電話相談センター

電話番号：**03-5432-2910**

(受付時間：平日8時30分から17時15分まで)

◎世田谷区新型コロナウイルス相談窓口

電話番号：**03-5432-2111**

(受付時間：平日8時30分から17時15分まで)

◎東京都の電話相談窓口

電話番号：**0570-550571**FAX番号：**03-5388-1396**

受付時間：9時から21時まで(土日休日含む。電話は日本語・英語・中国語・韓国語対応)

今後とも皆様の声を区政に反映するために
質問・提案をして参りますので、
ご意見・ご要望をホームページへお寄せ下さい。

公明党世田谷区議団

<https://komei-setagaya.org>

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-21-27 komei-setagaya@komei-setagaya.org

Tel.03-5432-2788~2790 Fax.03-3413-7233



区議会第4回定例会 一般質問・要旨

2019.11.27

1 新たな防災政策について

- ①世界初の災害被害予測ウェブサイト「cmap」を活用して自治体版被害予測システムへ構築せよ。
- ②事前防災として日常時と非日常時(非常時)をフリーにした視点を導入せよ。

2 雨水を「蓄える」「活かす」まちづくりについて

- ①雨水を蓄えて中水に利用する「見える化」の推進としてすべての公共施設に導入せよ。」を活用して、自治体版被害予測システムへ構築せよ。
- ②下水道へ導水する時間を稼ぐ、雨水貯留浸透システムのさらなる整備を進めよ。

3 公共空間における円滑な移動について

- ①環状八号線「環八船橋」交差点における屋外エレベーター設置を速やかに実現せよ。
- ②環状八号線「千歳台」交差点における歩行者への安全な横断措置を確保せよ。

区議会第1回定例会予算特別委員会(文教所管分質疑)2020.3.17

1 教職員の負担軽減について

区内小中学校それぞれの実情に合った適切な支援策が重要であり、効果検証を踏まえ着実に推進せよ。

2 学校施設のICT化について

校内通信ネットワーク、児童生徒1人に1台の端末、ICT支援員の充実をパッケージ化した整備構想を示せ。

3 学校施設における防災力の向上について

災害時における避難所としてフェーズ(日常と非日常)をフリーにした防災機能をさらに強化せよ。

区議会第1回定例会予算特別委員会(補充質疑)2020.3.23

1 新型コロナウイルス対策について

- 刻々と変化する状況に応じた来年度の補正予算対応に備えよ。
- 行政改革の観点から、行政の役割と民間の役割のメリハリを明確化せよ。
- 産業振興の観点から、生産から物流、販売、消費という循環型地域を目指すべき。

2 多胎児支援について

- 来年度における都支援事業について世田谷区として活用に踏み切れ。
- 多胎家庭へピアサポート(アウトリーチ)支援の担い手を探れ。

3 SDGs目標達成への道筋について

- 区を中心軸となるターゲットを「防災・減災」と「環境」に据えよ。
- 次世代を担う青年が主体となって課題に取り組み、共に活動できる枠組みを作り上げよ。

実現する! その1

■ 私立高校授業料の実質無償化が実現!

都議会
公明党が
提言

私立高無償化、4月から
世帯
年収 **910万円** まで
対象拡大

東京都は、現在「年収760万未満」である対象世帯を2020年4月より拡大。
さらに、年収910万以上の世帯（高校生を含む3人以上の子どもを扶養）についても都立高校年間平均授業料の半額を助成します。

■ 保健・医療・福祉の総合プラザ (うめとびあ)が 開設へ

区民の健康増進を担う総合拠点が実現しました。保健センター、福祉人材育成・研修センター、認知症在宅生活サポートセンター、初期救急診療所、休日夜間薬局の運営が始まりました。



■ 世田谷区 児童相談所が 開設へ

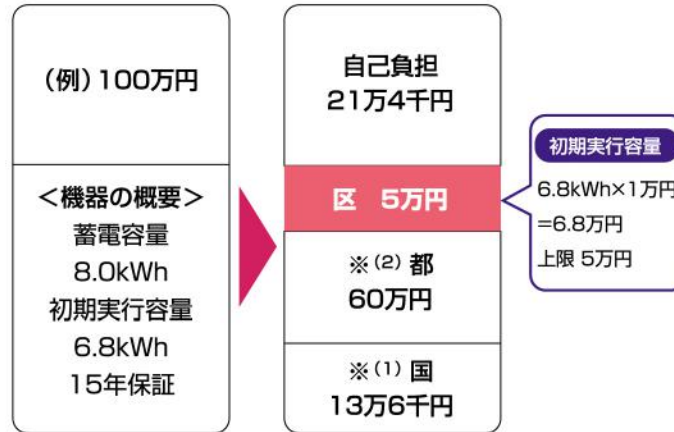
子どもの命と人権を守る効果的な児童相談について一元的に取り組むべきとの主張が実現しました。相談から保護まで区の責任による運営がスタートしました。

実現する! その2

■ 蓄電池の導入が実現へ!

- 指定避難所96箇所と帰宅困難者支援施設11箇所へ大容量ポータブル型を配備します。(2020年8月予定)
- 区民向け蓄電池の補助制度の導入します。
定置型蓄電池システム、小型ポータブル蓄電池システム(小型可搬式)

① 定置型蓄電池の補助額(上限5万円)



- ※(1) 国の補助金「災害時に活用可能な家庭用蓄電システム導入促進事業費補助金」
 ※(2) 都の補助金「家庭におけるエネルギー利用の高度化促進事業」
 ※(1)※(2)の条件:対象機器は、一般社団法人環境共創イニシアチブに登録されていること。

② 小型ポータブル蓄電池の補助額(上限1万円)



ご挨拶



日頃からの温かなご支援に心より感謝申し上げます。
さて、新しい令和の時代が始まり共生への建設に向けた鼓動が響く
一方で、世界各地で相次ぐ異常気象の被害や社会的立場における貧困、
さらに感染症など気候変動に伴う防災や危機の回避への行動を起こす、
すなわちSDGsの推進へ「行動の10年」と定め、持続可能な区民生活を
実現するために働いていく決意です。
今後とも宜しくお願い申し上げます。

佐藤 弘人

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



佐藤ひろとは持続可能な開発目標SDGsを支援しています。